



1

2015 JANUARY

あなたと町を結ぶ広報

なみえ



ホームページやフェイスブックは、
携帯からもご覧いただけます。
QRコードをご利用ください。

平成27年1月 No.588

毎月1回1日発行

- ② 新年のあいさつ
- ④ 町長から行政報告をしました
- ⑪ みんなでともに乗り越えよう
- ⑮ いつかためになる法律知識
- ⑰ 保健だより
- ⑱ 浪江町復興支援員通信
- ⑳ 双葉郡児童作文コンクール入賞
- ㉓ みんなの図書館
- ㉔ まちの話題
- ㉗ 情報びっくあっぷ
- ㉓ 浪江のころ通信
- ㉖ 連絡先一覧



今月の表紙 常磐自動車道 浪江インターチェンジ開通 (12月6日)





浪江町長
馬場 有

新年のご挨拶



浪江町議会議員
小黒 敬三

平成27年の新春を迎え、皆様の本年一年のご健勝とご多幸をご祈念します。

昨年、「町民一人ひとりの選択を可能とするために復興の動きを見える形にすること」を目標に、行政執行してまいりました。各班に亘りご協力・ご指導を賜りましたことに、厚く御礼申し上げます。

さて、町はいま、県内外に避難されている町民の方々の生活再建・生活支援に力点を置き、賠償、住居の改善（災害復興公営住宅、みなし借上げ住宅の更新支援等）と整備、医療費・国保税の減免措置、町民相互交流会開催等のネットワーク化、就学支援、就労・事業再開支援、復興支援員（二府九県に配置）の相談窓口創設、町民の絆をつなぐ広報の強化等々、平時にない業務を展開しております。

また、町の再生に向けて道路、上下水道のインフラ復旧・改修に努めており、津波被災

地において消波ブロック竣工、被災船舶の解体、がれき分別作業、町営墓地の造成着工、防災集団移転の用地買取り事業の着手、さらに水稲実証栽培、防災行政無線の再配置完了、危険家屋の撤去、数か所地域での除染、常磐自動車道の浪江インターから宮城県山元インターの供用開始等、ようやく復旧のスタートラインにつき、目に見える形になっております。今年はこれらに拍車がかかるように努めてまいります。

次に今年の施策目標についてであります。「復旧実現期」の第二ステージにあたり、第一ステージの踏襲になりますが、特に今年のは町のアイデンティティ存立のために、双葉郡北部の復興拠点と位置付け、国のイノベーション・コースト構想と融合するまちづくりを提案したいと考えております。

第一に、浪江町だからできる

る新たな第一次産業のかたちを具現化します。農作物、魚介類等の放射性物質の検査・研究施設設置、並びに海洋、河川の放射性物質移行に関する調査・研究施設を設置し、また新たな作物、新たな形態のICT農業拠点の形成などで、一次産業の再生・復興に努めます。

第二に、被災地だからこそ「学べる」「伝えられる」ことを具現化します。技術者の育成を視野に入れた研究施設設置、記録や資料の収集・保存、調査研究を行うメモリアル記念館設置による学術研究都市の形成に努め、情報発信拠点も整備してまいります。

第三に、双葉郡復興を支え、推進するために、セメント、金属などの資材リサイクルセンターを設置して、資材供給拠点の形成に努めます。

第四に、新エネルギー産業の創出を具現化します。メガソーラーなどの再生可能エネ

石の上にも三年ということわざがありますが、四度目の春を迎えました。

もはや限界、いやいや人は意外としぶといものと敢えて自らを奮い立たせるか、自分のためにも一人ひとり心を強く持つてください。

自分の努力の範疇にあるものは、三年ほど一所懸命に物事に当たれば目鼻がつくものですが、今回の震災および原発事故からの復興と各自の生活再建は私たちの努力の範疇を超えるものがほとんどです。そのため浪江町議会では震災直後より、国・県・東電への働きかけを強く求めてきました。「要望活動は判ったが、成果を出せ」という声も聞かれますが、当然のことと受け止め、さらなる活動をしてまいります。

昨年は、主な活動として、1月27日に「原子力損害賠償紛争審査会中間指針第4次追補の見直しに関する要望書」を国・東電および政権与党の自由民主党東日本大震災復興加速化本部大島理事本部長はじめ公明党へ、7月25日は、「浪江町民の原子力損害賠償紛争解決センター（ADR）集団申立て

和解案に対する東電の早期全面受諾を求める要望書」と「浪江町の復興に向けた要望書」を国・東電と主要各政党および福島県選出国会議員へ、11月7日には再度、イノベーション・コースト構想を加えた「浪江町の復興に向けた要望書」を大島本部長、復興庁、文部科学省、経済産業省、環境省に要望してまいりました。

少しずつではありますが、ボディアブローのように効き目がじわじわと出てきているものもあります。芽が出る前の深く省庁内に根を張り巡らせるような地道な活動も続けていかなければなりません。

町会議員と町民との意見交換会については、仮設、借上げ住宅の自治会や各団体ごとに要望があれば日程など打ち合わせをしてどこへでも伺うとしておりましたが、桑折駅前仮設住宅1件のみでした。有意義な交換会となりましたが、件数が少ないと要望活動に対する後ろ盾が弱くなります。町民の皆様の意見が議会活動のバックボーンとなりますので、今年こそは多数の参加申込みをお願いいたします。

気になること 避難生活の長期化や復興の遅れが人の心を蝕んでいきます。放射能に対する考え方や帰る、帰らない、帰れないなど意見の違いで弱者同士で争い合いがなないようにお互いに気を付けなければなりません。そして、今の私たちにしかできないこともあります。私の言葉ではうまく表現できないので、詩人の坂村真民さんの詩で伝えたいと思います。

「あとからくる者のために／苦勞をするのだ／我慢をするのだ／田を耕し／種を用意しておくのだ、あとからくる者のために／しんみんよ お前は／詩を書いておくのだ、あとからくる者のために／山を川を海を／きれいにしておくのだ、あああとからくる者のために／みんなそれぞれの力を傾けるのだ／あとからあとから続いてくる／あの可愛い者たちのために／未来を受け継ぐ者たちのために／みなそれぞれ／自分で出来る何かをしてゆくのだ」。

皆様の幸せと町の復興が一日でも早く進むことをご祈念いたします。新年の挨拶いたします。



浪江町議会議員
(議席番号順)

- 佐々木 恵 寿
- 馬場 績
- 三瓶 宝 次
- 吉田 数 博
- 紺野 榮 重
- 佐藤 文 子
- 泉田 重 章
- 山本 幸 一郎
- 若月 芳 則
- 山崎 博 文
- 松田 孝 司
- 平本 佳 司
- 鈴木 幸 治
- 佐々木 勇 治
- 渡邊 泰 彦

町長から行政報告をしました

※一部抜粋

町内の 復旧・復興について

除染等の進捗



◆酒田行政区

生活圏の除染が完了し、仮置場の管理を10月1日より環境省が委託した事業者が実施しており、空間線量率等の点検結果は、町のホームページで公表しています。

◆高瀬行政区・立野下行政区

全域の農地、宅地等の除染を全面展開中です。

◆除染の同意取得

9月上旬の『川添北行政区』から順次、行政区ごとに書類の発送を行い、最後の『荊宿行政区』の発送を11月上旬に終え、同意取得を進めています。

◆本格除染の発注

浪江町除染等工事(その3)『幾世橋3行政区』『北棚塩行政区』『藤橋行政区』に、新たに仮置場が確保された『西台行政区』が追加され、6行政区で本格除染が進みます。

◆仮置場の確保

現在、『樋渡・牛渡行政区』の仮置場

の確保に向け、用地借用の契約交渉中です。まだ確保されていない行政区も、引き続き関係行政区長さんと相談しながら進めていきます。

今後とも、対象住民の皆さまへ丁寧な説明をし、「仮置場の確保」および「除染の同意」に対し、ご理解とご協力を得ながら進めていきます。

また、かねてより環境省へ要望していた「除染および災害廃棄物等に関する相談窓口」が、11月4日より浪江町役場本庁舎内に開設されました。町民の皆さまからの「除染」および「災害廃棄物・家屋解体」に関するご相談をお受けしています。

除染計画の実施にあたっては、環境省に対し、引き続き町の意向を十分踏まえ、迅速かつ的確な実施を求めています。

災害廃棄物処理等の進捗



◆津波被災地の面的な災害廃棄物の選別・収集・運搬
現在、棚塩地区仮置場の西側および

県道254号(浜街道沿い)並びに両竹地区に集積されている災害廃棄物の選別作業を実施しています。選別された廃棄物は、請戸地区に設置の仮置場が一部供用開始されたことを受け、10月から搬入を開始しています。

また、家庭で発生する片づけごみの仮置場として使用する棚塩地区に設置の仮置場が一部供用開始されたことを受け、10月20日よりごみステーション回収方式による不燃ごみの回収を開始しています。

粗大ごみの回収は、平成27年1月以降の回収を予定しており、除染が完了した酒田行政区から回収を始める方向で環境省と協議を行っています。事前に関係行政区長さんと相談し、行政区の皆さまに周知を図っていきます。回収方法は、コールセンター方式で個別回収を考えています。

◆津波による被災車両等の撤去・処分
被災車両の現地調査が10月末で完了し、被災車両が1,051台ありました。所有者が分かっている車両については、所有者へ「撤去・処分の意向確認書」を発送し、提出期限を11月末として意向確認を行いました。また、所有者が不明な車両については、2か月間、車両に張り紙を掲示するとともに、所有者確認用の閲覧資料を役場本庁、二本松事務所、各出張所および環境省福島再生事務所に関覧場所を設

け、所有者の判明に努めています。

◆被災船舶の解体・撤去工事

10月10日より船舶の危険物等の事前調査を行い、11月21日より解体および撤去が開始されました。

◆危険家屋の解体・撤去

今年度発注の8棟は、10月末で工事が完了しました。今後は、危険家屋を含む42件(解体棟数121棟)を、環境省において平成27年1月の着手に向け、現在準備を進めています。

◆環境省による被災家屋等の解体申請の受付

11月末現在、受付済件数が225件、棟数で717棟となっています。

◆仮設焼却施設整備

10月29日に環境省主催の起工式が行われました。現在基盤工事を行っており、平成27年1月からプラント機械設置工事、5月には機器の調整を行い、6月には工事が完了し、焼却の試運転、7月から本格稼働を行う予定です。

津波被災地域の復興

津波被災者の生活再建のための「防災集団移転促進事業」は、10月より移転用地の買い取り、住宅再建者を対象とした被災住宅再建事業補助金等の受付を開始しています。移転用地の買い取りは、県内5方部における契約

復興まちづくり



昨年度策定した浪江町まちづくり計画を具体化するために、まちづくり計画実施検討業務委託により作業を進めています。まちづくり計画で示された避難指示解除後の必要施設やサービス、具体的に施設レベルの配置案や生活サービスの確保の方法について、事業者へのヒアリングを進めています。

また、地域限定ではありませんが、街並みの被害状況の記録と今後の町並みの検討も進めています。先に実施した中心市街地における建物被害状況調査の結果を合わせて、帰還に向けた拠点整備の具現化および中心市街地再生手法の検討を進めていきます。

町内の公営住宅整備

浪江町の避難指示が解除となった場合、地震・津波による被害や放射線量の関係で、自宅へ即時居住が困難とな

る場合も想定されるため、新たに公営住宅を整備します。8月に実施した住民意向調査の結果を基に、全体の整備計画の作成と、その中でも「帰還意向あり」と回答された方向けの第一期整備に向け、交付金申請手続きを進めていきます。

整備場所は、津波の被害を受けた方々の防災集団移転先候補地である幾世橋地区と請戸地区に「災害公営住宅」を整備します。また、直ちに自宅に帰還できない方向けの「復興公営住宅」は、幾世橋地区の防災集団移転先に隣接して整備します。

また、福島再生加速化交付金による福島再生賃貸住宅の整備の検討も進めています。この住宅は、浪江町民だけでなく、震災当時浪江町民でなかった方も入居できる住宅で、生活関連サービスに従事する方なども入居できるようになります。整備場所や整備する住宅のタイプについて検討を進めています。

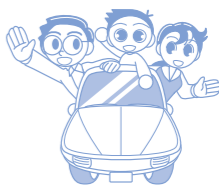
これらの公営住宅の整備は、避難指示解除の想定時期である平成29年3月に向けて進めていきます。

イノベーション・コースト構想の具体化

本年6月にイノベーション・コースト構想研究会が報告書を取りまとめました。この構想は、政府のいわゆる「骨太の方針」にも位置づけられており、双葉郡をはじめとする浜通りの産業再構築は同構想が土台となると思われまます。

町としては、昨年度策定した「浪江町復興まちづくり計画」で掲げた「双葉郡北部の復興拠点を担う」の考え方も、町の地理的要件や放射線量の状況などの潜在能力を踏まえ、地域の中で浪江町の担うことができることになにかを検討し、イノベーション・コースト構想に掲げられている主要プロジェクトと関連づけて『浜通りの再生に向けた浪江町のあり方』双葉郡北部の復興拠点としてまとめました。今後はこの対応方針を基に「分野別検討会」や「12市町村の将来像検討会」に、積極的に関与してまいります。

常磐自動車道・浪江インターチェンジ(IC)開通



念願の常磐自動車道浪江ICが今月6日に開通し、北方面への交通アクセスが容易となりました。当日は、宮城県の山元ICで開通式典が挙行され、その後、浪江ICで営業開始セレモニーが行われました。

開通に先立ち、先月30日には普段体験できない開通前の高速道路上で、「常磐自動車道開通記念サイクリング」が新地ICを中心に開催され、沿線市町村でも記念イベントが開催されました。当町は、南相馬市のご協力のもと共催という形で南相馬ICでサイクリング大会を開催することができ、浪江町民も参加しました。

常磐自動車道の残る富岡・浪江間も、平成27年3月1日の全線開通を目指して工事が進んでいます。復興途上の双葉郡内町村の活性化、また住民帰郷に向けた起爆剤となることを期待し、NEXCO東日本東北支社、関係省庁と協力してまいります。

町内での事業活動状況

9月25日に建築土木関係事業を営む會津鉄建工業が、10月1日にはコンクリート製品を製造、販売するダイイチが再開したことにより、町内で再開した事業者は15事業者19事業所となりました。引き続き、町内の利便性向上のため、様々な業種の事業再開を進めていきます。

常磐自動車道浪江IC開通に伴う防犯対策

常磐自動車道浪江IC開通により、浪江ICから国道6号までの約5kmの国道114号は、浪江町民以外の不特定多数の車両が往来することが見込まれ、これまで以上の防犯対策の強化が必要と考えます。町は、国道114号沿線の住居等に簡易バリケードを設置し、主要道路との交差点には開閉式のバリケードと通行証の確認を行う警備員を配置して、浪江町民以外の通行に厳重なチェックを行うことにしました。

また、先月27日には防犯見守り隊の発隊式と、警察・消防との合同による

浪江町消防団の活動



10月5日、浪江中学校校庭(旧針道小学校)で浪江町消防団秋季検閲式が開催されました。震災後をはじめて屋外で行った検閲式には115名の消防団員が集合し、分列行進・閲団などを行って改めて消防意識と士気向上に努めました。

また、毎週日曜日には各分団による町内パトロールが引き続き行われています。町内の防犯防火、より安心できる町づくりに貢献できるよう、今後も継続してまいります。

福島原子力災害避難区域等帰還・再生加速事業「および」福島避難解除等区域生活環境整備事業

昨年度より、立入りされた町民の利便性や安全の確保、町内の防犯・防災、また公共施設の機能回復のため、標記の2事業で対策を講じてきました。これまでも当事業を積極的に活用し、防犯対策や町内の公共施設の機能回復を進めてきましたが、今後は、防犯見守り隊事業、防災機器移設事業などを当事業で進めることを予定しており、浪江町の復旧・復興のさらなる加速化を図ります。

災害対策応急活動の相互応援に関する協定

本協定は、協定自治体の区域内で災

避難中の生活・住まい(仮設住宅)



11月末現在、建設戸数2,893戸に対して入居戸数2,062戸、入居

避難指示区域への立入り

12月6日の常磐自動車道浪江IC開通に合わせ、立入り時間を6時から19時に延長した無期限の通行証を、12月1日付で9,412件発行しました。また、11月末現在で浪江町臨時通行証を6,587件発行し、車両や同乗者の変更申請は、1,560件を受け付けています。

県営の復興公営住宅整備

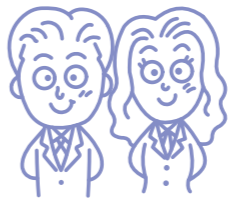
バス立入りは、9月から11月の3か月で230世帯298名から申込みがあり、204世帯260名が立入りされました。公益立入り通行証は、9月568件、10月520件、11月451件を発行しています。

県営復興公営住宅第一期募集の528戸について、入居が開始しました。浪江町民が初めて入居する住宅は会津若松市の古川町団地で、12月15日が入居予定日となっています。今後は、3月にいわき市の下神白団地と下湯長谷団地、郡山市の柴宮団地で浪江町民の入居が予定されています。

住民意向調査の結果にもあるように、町民は南相馬市や二本松市等の復興公営住宅の整備を待ち望んでいる状況ですが、用地交渉などの問題から募集時期が現在確定できないものもあります。計画されている各地の復興公営住宅について、早期に募集時期などを明らかにすることを求めています。また、一刻も早い住宅環境の改善と生活安定のため、引き続き県に対し住宅整備の促進を強く求めています。

協定に基づく 復興公営住宅の 整備状況

本宮市営の復興公営住宅は、本宮市により10月から11月にかけて募集が行われ、3団地56戸の募集に対し115世帯の申込みがありました。また、桑折町営の浪江町民向け復興公営住宅25戸も年度内を目標に募集が行われる予定です。その他にも、県の桑折町代行事業で39戸の追加整備の計画が進められています。



町民交流事業

11月10日に長野県上田市「市民プラザゆう」、29日に東京都千代田区「東京国際フォーラム」で交流会を開催しました。交流会では、町からの現状報告後、国道114号沿いの津島から浪江までの最近の風景等の写真を会場内に貼りだし、町の様子を見ていただきました。

また、9月29日に初めて、10府県に配置している復興支援員および支援員サポート団体合同の復興支援員推進会議を福島市で開催し、それぞれの地域の活動報告と、今後の支援の取り組みについて情報を共有しました。翌日は郡山市にある復興公営住宅先行展示施設を視察するなど、支援員にとって県外避難者への支援に繋がる貴重な研修の場となりました。

仮設津島診療所 常勤医の着任



平成26年9月16日、札幌市にある「医療法人溪仁会 札幌西田山病院」との契約により、同病院の名誉院長である「峯廻攻守」医師をお迎えし、10月1日から仮設津島診療所の常勤医として勤務していただいています。専門は内科（循環器科）で、仮設津島診療所で週3日、応急仮設診療所で週2日、診療に当たるほか、放射線健康セミナーでの健康相談等に協力していただいています。

放射線健康不安に 関するリスクコミュニ ケーション

放射線健康不安の解消のため、弘前大学浪江町復興支援室と連携し、リスクコミュニケーションを実施しています。8月に、東京で避難町民の方を対象とした放射線健康セミナーを開催した後、10月から11月にかけては、町職員のパフォーアアップ研修のほか、京都市、いわき市および柏崎市で避難町民の方を対象とした放射線健康セミナーを開催し、峯廻医師にもご協力をいただき、健康相談を兼ねて実施しました。

タブレット端末 整備事業



通信業務と運用業務の事業者選定の競争入札を実施し、いずれもコストの削減につながりました。また、11月初めに町民各世帯に申込書を送付し、4,000件以上の申込みがありました。11月末には、東京での交流会および十日市祭の会場にて操作体験会を開

災害関連死

催し、多くの町民の方にタブレットに触れていただきました。今後、仮設住宅などで操作テストを行い、その意見を参考にした改良を加えたのち、1月下旬より配布を開始し、年度内に配布を終了したいと考えています。

現在、双葉地方災害弔慰金審査委員会において関連死の可否の審査をお願いしており、11月28日現在、申出受理件数450件、うち審査件数437件、うち認定件数が348件となっています。

住民意向調査について



8月に復興庁と福島県、浪江町の3者共同で実施した住民意向調査の結果速報が、10月17日に発表されました。調査は世帯の代表者を対象として、

浪江町ADDR集団申立 について

9,749世帯に対し郵送により実施しました。このうち回答は5,796世帯、回収率は59.5%でした。今回の調査の主な目的は、町内外に整備する復興公営住宅の整備戸数の把握と、浪江町への帰還意向の把握などです。

◆復興公営住宅
「入居を希望する」24.8%、「判断できない」25.5%、「希望しない」46.3%で、世代別にみると高齢者の希望が多い傾向です。また、入居を希望する方の総数は1,376世帯で、前回調査の2,065世帯より689世帯減少しています。

◆町への帰還の意向
「戻りたいと考えている」17.6%、「判断がつかない」24.6%、「戻らないと決めている」48.4%となりました。

「戻りたいと考えている」がわずかに減少した一方、「戻らないと決めている」が11.1%増えており、「判断がつかない」で減少した12.9%が移行したものと思われます。時間の経過に伴い、戻らないと決める方が増える状況が顕著に表れた結果となりました。そこには、本当は戻りたいが、今の状況では戻れないという方も含まれていると考えています。住民意向調査は来年度も継続して実施する予定ですので、町民の皆さんの判断材料となる情報を、より早くわかりやすい形で提供できよう努めていきます。

表彰について

東京電力は、原子力損害賠償紛争解決センター（ADRセンター）の仲介委員が「和解案提示理由補充書」により和解案の趣旨を再度説明し、改めてその諾否を求めたことに対して、9月17日付けで再度、実質的に全面拒否する回答書を提出しました。この東京電力の回答に対し、すぐさま町長として抗議のコメントを発表し、「和解案の尊重」という自らの誓いに従い「和解案」を受諾し、申立人にこれ以上苦痛を与えないよう強く求めました。

また、浪江町支援弁護士団は抗議の声明を発表のうえ、ADRセンターに対し、東京電力が和解案の内容を正しく理解するための説明を継続することにも、すべて受諾するよう、強く説得することを求める「上申書」を提出しました。今後も、ADRセンターが東京電力に対して強く対応するよう働きかけを進め、その動きを見極めながら行動してまいります。

◆特別功労表彰は4名の方々に、長年にわたり学校教育の進展に尽力された方々や請戸郵便局長として精励された方です。

◆功労表彰は4名の方々に、ご当地グルメを活用したまちおこし活動に日夜尽力された方々、震災以降浪江町民を援助くださった方々です。

◆善行表彰は22名の方々に、多年にわたり消防団として尽力された方々、震災以降浪江町民を援助くださった方々です。

これら総計30名に賞状および記念品を贈呈し、ご功績を讃えました。

浪江町功労者表彰式

文化の日の11月3日、第42回浪江町功労者表彰式を二本松市内で開催しました。

生涯学習関連事業について (スポーツ関連)



◆泉市町村対抗軟式野球大会で、これまで輝かしい成績を残している浪江町チームは、全町避難の困難状況にも関わらず今年も善戦しました。9月14日には県内外の避難先から30名ほどの選手が結集して対天栄村戦に臨み、10対0の5回コールドで初戦を飾りました。9月20日の矢吹町との対戦は、投手戦が続く中わずかに1点を許し、0対1で惜敗しました。

浪江町敬老祝金と 100歳賀寿表彰

9月15日の敬老の日を基準日として、80歳から84歳の方939名、85歳から89歳の方702名、90歳以上の方

みんなで ともに 乗り越えよう

浪江町を復興していくためには、町民の生活再建・健康管理、インフラの復旧、将来に向けたまちづくり、賠償問題、絆の維持など多くの課題があります。その中で、町がどのような取り組みをしているのかをお知らせします。

営業を開始しました



製麺所 旭屋の新工場が相馬市で稼働！

震災後、郡山市の仮設事務所で事業を再開していた旭屋が、浜通りに戻り、新天地の相馬市で活動を本格再開しました。同社は、震災があった2011年8月、浪江焼麺太国と共にB-1グランプリに出場した際、全国から受ける支援の大きさを知り、新工場構想を立てたと言います。今後は震災前と同様、地域に密着した学校給食や企業給食の提供をしつつ、看板商品となった「なみえ焼そば」の製造を続けていく予定です。

町民の皆さんへ

合資会社 旭屋
代表社員 鈴木昭孝
[相馬工場]
相馬市馬場野字雨田166



私たちは今秋、相馬市で新工場を設立しました。国道6号沿いでアクセスのよい場所です。再開場所は、中通りやいわき市も視野に入れていましたが、相双地区への想いと、交通の要所となる利点を考え、相馬市に決めました。

当面は郡山市での営業も続けますが、新年度からは新地町と相馬市への学校給食提供をはじめとして、地域に貢献する活動をしていきたいと思います。浪江町を追われ、故郷に戻れなくなって一番感じたことは、なみえ焼そばや大堀相馬焼が持っている力の大きさでした。町民の方からも、それ以外の方からも、全国各地の様々な方から、本当に大きな応援と力をいただいています。その方々に少しでも恩返しをしたいと思い、自分たちで考えたことを形にできる、自前の工場を作りました。浜通りは雇用の確保も難しく、平坦な道ではありません。ただ、いつか浪江駅前前の旭屋に戻るため、皆さまと共に、一步一步進んでいきたいと思います。

宅急便でお馴染みのヤマト運輸(株)が 町内で集配を再開しました

平成26年11月17日(月)より、浪江町内の一部地域で集配を再開しました。浪江町内で復旧・復興事業に従事されている方の利便性の向上、一時立入りされる町民の皆様の安心につながり、復興の見える化や将来の帰還に向けた一歩となりました。

町民の皆さんへ

ヤマト運輸は、運送サービスを通して、お客様のところを受け継ぎ、責任と誠意とまごころをもって、迅速かつ正確に運び、お届けすることを事業の目的のひとつとしています。町民の皆様が安心して、喜んでいただけるサービスを目指してまいります。



ヤマト運輸(株) 福島主管支店
原町支店長 遠藤和浩
[福島主管支店 原町支店]
南相馬市原町区大字零字南大江下258-3
☎0120(01)9625
※浪江センター(加倉)の事務所は現在閉所中

◆避難生活が長期化する中でスポーツを通じて繋がり合い励まし合おうと、浪江町長杯の各種大会が9月から全5種目で開催され、ソフトボール、ゲートボール、家庭婦人バレーボール、グラウンドゴルフ、パークゴルフに延べ352名が参加しました。◆浪江町の子どもの再会の場である「集まれ!なみえっ子」を今年も10月13日に猪苗代町の磐梯青少年交流の家で開催する予定でしたが、台風19号接近のためやむなく中止しました。

◆「東日本大震災復興事業」と位置付けられた第1回市町村対抗福島県ソフトボール大会が10月18日から10月26日までの土・日4日間の日程で相馬市で開催されました。初回となる今大会には県内49市町村が出場し、浪江町からも先の町長杯大会での優勝チームを軸に補強編成したチームで臨みました。10月18日の泉崎村との対戦は9対4で勝利。翌19日の埴町との対戦は2対1で惜敗しました。◆第26回市町村対抗福島県縦断伝競走大会が11月16日に白河市と福島市の間で行われました。浪江町チームは、佐藤博文監督が全国各地の避難先の選手等との連絡を密にしながら態勢を整え、土曜ごとの練習と2回の合宿を中心に練習に取り組んできました。常連の成人選手が都合で出

その他のピックアップ

場できない中、比較的若い選手層でのチーム編成でレースに臨み、それぞれに自己の最善を尽くすレース運びができましたが、結果は総合29位、町の部11位で昨年同様となりました。

第20回 福島県知事選挙



10月9日告示、10月26日投票日。10月9日告示、10月26日投票日。投票は、期日前投票・不在者投票や投票日当日、その後の開票まで適正な選挙事務執行に努めました。期日前投票所は二本松、福島(2か所)、本宮、いわき、南相馬に合わせ6か所設置し、当日投票所は期日前投票所に桑折を加え合計7か所に設置し

ました。また、選挙のお知らせを全有権者に配布し投票所の場所や受付時間の周知をはかるとともに、10月25日、26日は仮設住宅から投票所までを結ぶ巡回バスを運行するなどして、投票機の確保と投票率の向上に努めました。その結果は、当日有権者は15,943名、投票者数は6,785名で投票率は42・56%、前回の投票率47・94%を5・38ポイント下回りました。期日前投票者数および不在者投票者数が全体の6割弱(57・8%)を占めており、お知らせ等による事前の情報提供が今後ますます重要になると考えられます。今後一層の有権者への周知・啓発を行い、投票率の向上に取り組みます。

B in郡山 ー1グランプリ

10月18日、19日に開催されたB-1グランプリin郡山は、好天に恵まれ、予想を上回る45万3千人の来場をいただきました。今回の大会は「東北・福島応援特別大会」と位置づけられ、福島県の元気を全国に発信するとともに、出展者が使用する食材は福島県産を利用するなど、風評払拭にも大きく貢献するイベントとなりました。浪江町は「ふるさと納税制度」を活用し、町民の方々へ大会運営補助の寄

ふたばワールド 2014 inかわうち



昨年復活したふたばワールドは、今年9月28日に川内小学校で開催され、昨年度から倍増となる6,500人の方々に来場いただきました。「一緒に創ろう!ふたばの明日!」をコンセプトに、双葉8町村が協力して地域の元気を発信しました。浪江町からは「相馬流山保存会」「大堀相馬焼」「なみえ焼そば」「タブレット体験」などを出展しました。

町の農業再生に向けて

環境省で 試食会を行いました

11月19日、町内で収穫された米が環境省(中央合同庁舎第5号館)の食堂で提供されることになり、同日、環境大臣室で新米の試食会が行われました。



新米の贈呈
左から 松本さん、馬場町長、鈴木組合長、福山政務官、望月大臣



新米で握った浪江産のおにぎりを持ち「食わっせ！」

員と共に試食しました。望月大臣は「おいしい」とおにぎりをほおばり、環境大臣室内に笑顔が

広がりました。
試食会で、馬場町長は「お米一粒一粒に復旧への意気込みが込められていると思う。希望を持って復興へ精進していきたい」と決意を語りました。松本さんは、「天候にも恵まれ、おいしさも収穫量も予想以上の出来栄」と満足の表情でした。鈴木(酒田農事復興組合)組合長は、「4年ぶりの稲刈りでは、みな白い歯がこぼれていました。本来の姿に戻ったかなと思いつつながらおにぎりを食べました」と米のおいしさと喜びをかみしめていました。収穫した米の全量全袋検査の結果は、全て基準値(100ベクレル以下)より大幅に低い数値となっており(先月号に掲載)、安全性が確認されています。今後関係機関のご協力をいただきながら、浪江町のふるさと再生に向け歩みを進めていきます。



環境省(中央合同庁舎第5号館)の食堂に米を提供

平成29年3月の帰還開始に向けた、農業再生への取り組み 浪江町農業再生プログラムをご紹介します

11月7日に開催された、町の農業団体で構成する「浪江町地域農業再生協議会」において、「浪江町農業再生プログラム」をまとめました。
本プログラムは、町が目指す平成29年3月の帰還開始時期までの間、関係する農業団体がそれぞれの役割を担い、農業者の皆さんとともに、農業再生に向け一丸となって取り組む内容をまとめたもので、平成28年度までの取り組みの指針となります。今回は本プログラムの概要をご紹介します。

協議会構成

浪江町、浪江町議会、浪江町農業委員会、浪江町認定農業者協議会、JAふたば、NOSAI双葉、請戸川土地改良区、福島県酪農業協同組合浜支所、浪江町酪農組合、第一種出荷取扱業者

【オブザーバー】

農林水産省、福島県相双農林事務所、双葉農業普及所

基本方針

ふるさとなみえを再生する

～受け継いだ責任、引き継ぐ責任～

※浪江町復興計画(第1次)に掲げる基本方針

プログラムの実施期間

平成26年度～平成28年度

取り組み内容

(1)農地保全・農地の集約化

- 行政区ごとに農事復興組合を組織し、除染後の農地保全
- 景観形成作物の栽培による農地の地力回復
- 農地保全作業受委託の仕組み作り、行政区間の連携および農地集約化の推進
- 集落営農や企業経営体制など営農組織の検討
- 「再生加速化交付金事業」を活用した圃場整備の検討



(2)農業用施設の復旧・整備

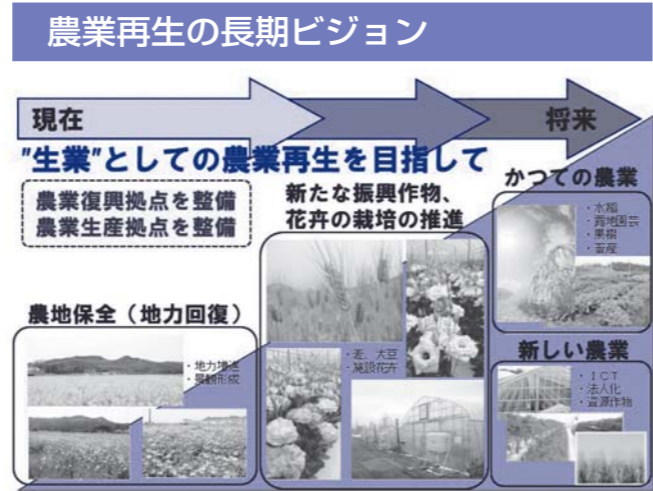
- 安心して営農活動ができる、農業用施設復旧(大柿ダム、苧宿堰、掃部関頭首工など)、また除染や下流域への拡散防止対策など、継続して関係機関へ強く要望
- 農協施設を中心とした農業生産拠点の再生(ライスセンター、育苗施設・機械整備施設など)
- 双葉郡北部の農業再生・復興拠点を整備(全袋検査場・モニタリング・人材育成・農業者支援)



(3)実証栽培・担い手の育成

- 水稲、園芸作物、果樹など従前作物の実証栽培を、栽培から販売まで農業者の協力を得ながら町が主体的に実施
- 水利・放射能問題の懸念から麦や大豆、花き等の実証栽培を実施(施設園芸やICT※を活用した農業の実証・調査研究を行い、具体的な農業経営プランを提案する取り組みを推進し、担い手の育成・確保に積極的に取り組む)
- 将来にわたり浪江の農業を継承していくために、町内の担い手等との座談会を開催し、浪江の農業経営プランについて議論

※ICT=情報通信技術
(Information & Communication Technology)



酒田の試験栽培米の結果報告と勉強会を開催します

- ▷日時 1月31日(土) 13時30分～
- ▷場所 役場二本松事務所 2階大会議室
- ▷内容(予定)
 - 放射能に関する研究成果
 - 浪江町における試験栽培
 - 営農再開に向けた支援
 - 質疑応答

※講師や内容の詳細は「広報なみえお知らせ版(1月15日発行)」でお知らせします。

酒田農事復興組合の 取り組み



播種作業を行われた酒田地区の皆さん



小麦の播種作業

酒田農事復興組合は、除染が終わった農地の農地保全の一環として景観形成緑肥作物の播種を行い、16名が参加しました。
また、酒田地区の農地では、農業者の協力を得て小麦の実証栽培をはじめました。越冬し来年春に収穫期を迎えます。
浪江町内では農地の除染が進んでいます。農地引き渡し後の農地保全、景観形成緑肥作物の栽培や実証栽培など取り組みを継続していきます。

いつかためになる

法律知識

Vol.15
任意後見



弁護士 井上 航
産業・賠償対策課 主幹
(所属：第二東京弁護士会)

原発賠償に関して知っておきたい大事なポイントの解説と、日々の生活で問題が起きた際に迷わず対応するための予備知識をお伝えしていくコーナーです。

認知症は、さまざまな原因により脳の機能がうまく働かず、生活に支障が出ている状態の総称です。

平成24年の厚労省の調査では、65歳以上で認知症の方が推計約462万人、認知症になる可能性のある軽度認知障害の方が推計約400万人いるそうです。この推計が正しいなら、65歳以上の4人に1人が認知症かその予備軍となります。認知症は、年齢を重ねるほど発症しやすくなり、完全な予防策はありません。誰でも認知症になる可能性があります。

認知症ではないとしても準備は必要です。認知症になってから介護サービスの申込みや老人ホームの選択・入居手続を自分で行うのは困難ですし、近い親族であっても本人に代わって契約や手続をするのは簡単ではありません。また、認知症で判断能力が低下することで詐欺に引っかけたり、老後の蓄えを失うこともあり得るので、そういった危険にも備えなければなりません。どういった準備が必要なのかは、ご本人や親族の考え、状況

Q 年齢もあって物忘れが多くなりました。元気な間は一人で生活をしたと考えているのですが、このまま認知症が進行してしまう前に準備することはありますか。

A 物忘れの原因は認知症とは限りません。例えば、「昼に食べたおかずを思い出せない」というのは単なる老化による記憶力低下の可能性もあります。しかし、「昼食をとったこと自体を覚えていない」のは認知症の可能性が高いと言われています。早目に医師に相談して、必要があれば早期の治療につなげるのが重要です。

などにより違うとは思いますが、今回は一つの方法として任意後見契約について説明します。任意後見契約は、認知症などにより判断能力が不十分になった後の「介護や生活面の手配」と「財産の管理」に関する事務を任意後見人にあらかじめ委託する契約です。特徴として、任意後見人には裁判所が選んだ任意後見監督人をセットで置き、任意後見人の業務を監督することになっています。これにより、任意後見人による本人財産の使い込みや不適当な業務を監督することができ

きる仕組みになっています。そのため、後見業務の開始後は任意後見人の報酬と任意後見監督人の報酬の両方が必要になります。任意後見人の報酬は契約をする際に本人と任意後見人の話し合いで決めるので、無報酬とすることもできます。任意後見監督人の報酬は裁判所が決めることとなります。任意後見にも状況に応じてパリエーションがあり、また任意後見までしなくとも対応できることもあります。迷ったときには法律専門家や福祉の専門家に相談してください。

相談はこちらまで



■福島県弁護士会 原子力発電所
事故被害者救済支援センター
TEL 024 (533) 7770
*受付時間 (平日 10時～15時)
*東電に関する賠償請求と和解の申立てに関する専門ダイヤルです。

■震災法テラスダイヤル
☎0120 (078309)
*受付時間 (平日 9時～21時、
土曜日 9時～15時)
*福島市・二本松市・双葉郡広野町に相談できる事務所があります。
県外の法テラスも紹介してもらえます。

☎産業・賠償対策課賠償支援係
TEL 0243 (62) 0167

下水道災害復旧工事を行っています

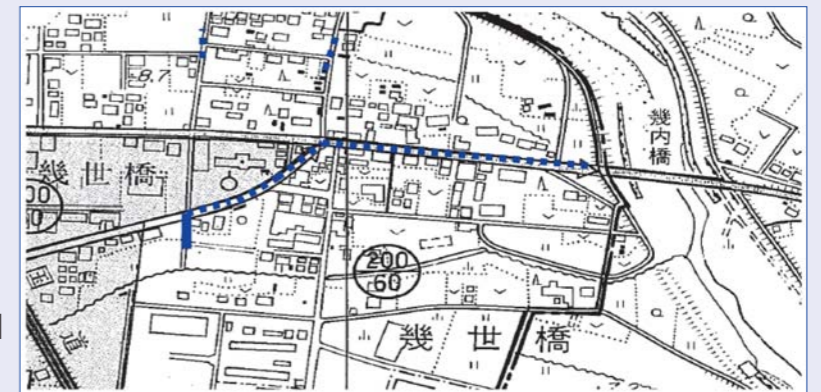
工事期間中はご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

施工場所	浪江町大字北幾世橋、幾世橋地内
施工業者	東北土木株式会社
工事期間	平成27年3月27日まで
交通規制時間	午前8時から午後5時まで
交通形態	 片側交互通行  通行止め (詳細は後日お知らせします)

※交通誘導員の誘導等へのご協力をお願いします。



【北幾世橋地区】



【幾世橋地区】

☎復旧事業課上下水道係 TEL 0240 (34) 0234

「第4回事業再開検討委員会」が開催されました

11月17日、第4回事業再開検討委員会が開催されました。町外での事業再開は、商圏規模等の問題から小売事業者は単独で再開しづらい環境にあり、事業の再開率が他の業種に比べて低いのが現状です。今回は、町外のコミュニティ形成に知見のある早稲田大学の佐藤教授、避難先でのまちづくりや事業再開に取り組んでいる商工会の原田会長、NPO新町なみえの神長倉理事長よりそれぞれご講演いただきました。

☎産業・賠償対策課商工労働係 TEL 0243 (62) 1106

インフルエンザに 注意しましょう



インフルエンザの流行シーズンです。流行を防ぐためには、原因となるウイルスを体内に侵入させないことや周囲にうつさないようにすることが重要です。インフルエンザの感染を広げないために、一人一人が「かからない」「うつさない」対策を実践しましょう。

自分でできる予防対策

- ◇外出後は、小まめに、丁寧に手洗い・うがい
石けんなどを使ってしっかりと洗い、きれいなタオルなどで十分にふき取りましょう。
アルコール消毒も効果的です。うがいも忘れずに行いましょう。
- ◇十分な栄養と睡眠をとって健康管理
健康管理も重要です。栄養と睡眠を十分にとり、抵抗力を高めておきましょう。

- *咳やくしゃみのあるときは、「咳エチケット」を守りましょう。
- マスクをする。
 - 口と鼻をティッシュでおおう。
 - 周りの人から顔をそむける。



広げよう ママ友の輪

今月の かもめっ子クラブ

- ◆いわき市◆ 1月15日(木) 10時～
いわき市文化センター
- ◆郡山市◆ 1月22日(木) 10時～
郡山市総合福祉センター
- ◆南相馬市◆ 1月29日(木) 10時～
高平生涯学習センター



10月23日、南相馬市



10月2日、郡山市



10月16日、いわき市

高齢者 肺炎球菌ワクチン接種

平成26年度に無料で接種できるのは以下の方です。
(1) 年度内に以下の年齢になる方

対象者	生年月日
65歳	昭和24年4月2日～昭和25年4月1日
70歳	昭和19年4月2日～昭和20年4月1日
75歳	昭和14年4月2日～昭和15年4月1日
80歳	昭和9年4月2日～昭和10年4月1日
85歳	昭和4年4月2日～昭和5年4月1日
90歳	大正13年4月2日～大正14年4月1日
95歳	大正8年4月2日～大正9年4月1日
100歳	大正3年4月2日～大正4年4月1日
101歳以上	大正3年4月1日以前の生まれ

接種期間は平成27年3月31日までです。
接種期間を過ぎると無料で接種できなくなりますのでご注意ください。

(2) 60歳以上65歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器の機能に障がいまたはヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に障がいのある方(身体障害者手帳1級に相当する程度の障がい)

※(1)(2)とも、すでに高齢者肺炎球菌ワクチンを接種したことがある方は、無料接種の対象外となります。

▶接種方法

- 県内に避難されている方
直接医療機関に予約し、窓口負担なしで接種できます。浪江町の予診票を使用してください。
- 県外に避難されている方
避難先の市区町村にお問い合わせください。
市区町村によっては、無料で接種できない場合があります。一度実費をお支払いいただきますが、町で費用を負担しますので、ご連絡ください。

さわやかクラブの活動

11月21日、浪江町役場二本松事務所の周辺約5kmのウォーキングを楽しみました。

*さわやかクラブとは、浪江町民が月1回、ノルディックウォーキングを実施している会です。



生活習慣を見直して メタボを予防しよう

総合健診の結果はいかがでしたか？
震災後は、男女ともに体重が増えている方や脂質異常の方が増えています。
食べ過ぎ、飲み過ぎ、運動不足、喫煙などの生活習慣を積み重ねていると、内臓と内臓のあいだに脂肪がどんどん蓄積していき、メタボリックシンドローム(以下、メタボ)という危険な状態を呼び込みます。
生活習慣を見直し、メタボを予防しましょう。

メタボとは

内臓のまわりに脂肪がたくさんついた上、脂質異常、高血圧、高血糖のどれか2つ以上を抱えている状態です。個々の状態が軽度でも、重なることで動脈硬化を急速に進行させ、心臓病や脳卒中など命にかかわる病気を引き起こします。



メタボ予防のためのポイント

食事

食べ過ぎや夜遅い時間の食事、朝食抜きなどの食生活の乱れは、内臓脂肪をためるいちばんの原因です。

1日3食バランスよく、自分に合ったエネルギー量を守ることを意識しましょう。

- ★3食規則正しく食べましょう。
- ★主食・主菜・副菜をバランスよく食べましょう。
- ★野菜や海藻類をたっぷり食べましょう。
- ★よくかんで食べましょう。
- ★食べ過ぎはやめて腹八分目に。



たばこ お酒

★喫煙はがんの発症率を上げるだけでなく、内臓脂肪の蓄積を促進したり、動脈硬化を進めたりします。
たばこは百害あって一利なし。今すぐ禁煙しましょう。

- ★お酒は適量を守りましょう。
- ★週に2日は休肝日を設けましょう。



運動

内臓脂肪は、消費エネルギーが摂取エネルギーより少ないことでたまります。
消費エネルギー量を増やして内臓脂肪を減らしましょう。

日常生活の中で運動量UP

- ★できるだけ階段を使う。
- ★こまめに家事を行う。
- ★買い物は徒歩で。
- ★歩ける距離なら歩く。

ウォーキングで内臓脂肪を燃やす!

- 視線を下げない
- あごは引く
- 足を伸ばす
- かかとから着地
- 背筋を伸ばす
- 腕は前後に大きくふる
- 歩幅はできるだけ広めに



検診は受けてからが大切です。
今年度の検診の結果、要精密検査と診断された方は早めに精密検査を受診しましょう。





京都府駐在編



浪江町 復興支援員通信



埼玉県駐在編

訪問や交流会で伺った話の内容 (一部)

- 今の生活も少しずつ落ち着いてはきたが、浪江への思いは募っていく できればいつかは帰りたいと思っている
- 少しでも浪江にいた時のように野菜や花を植えて土いじりをするのを楽しみにしている
- 支援員と嬉しそうに話をする家族の様子を、震災後久しぶりに見ることができた
- 遠いところに来てもらえて、家族以外に浪江の話ができるのはとても嬉しい
- 近くに住んでいる浪江や浜通りの人と交流できる場が欲しい



個別訪問の状況

月	訪問件数	訪問地区
9月	11件	石川県(金沢市)、兵庫県(神戸市)、大阪府(大阪市)
10月	6件	兵庫県(豊岡市)、福井県(敦賀・大野市)
11月	6件	高知県(高知市)、岡山県(倉敷・笠岡市)
1月	一件	中国地方、四国地方、関西地域 他 ※予定
2月	一件	中国地方、四国地方、関西地域 他 ※予定

浪江町は、町で委嘱した【浪江町復興支援員】計30名を全国10府県に配置し、全国に避難している浪江町民の想いに寄り添った形のサポート活動を行っています。

浪江町民一人ひとりと向き合い、不安や悩み、浪江町への想いなどに耳を傾け、一人ひとりの暮らしの再建に向け『どこに住んでいても浪江町民』を合言葉に、活動しています。

今回は、埼玉県駐在浪江町復興支援員【担当エリア：埼玉県、東京都の一部】の活動状況と、京都府駐在浪江町復興支援員【担当エリア：富山・石川・福井・滋賀・京都・大阪・奈良・和歌山・兵庫・鳥取・岡山・香川県】の活動状況を紹介しします。

個別訪問の状況

月	訪問件数	訪問地区
9月	10件	埼玉県(深谷・熊谷市)
10月	39件	埼玉県(加須・久喜・幸手市/白岡町)
11月	25件	埼玉県(上尾・鴻巣・北本・桶川市)
12月	一件	埼玉県(東松山市/小川・滑川・鳩山町) ※予定
1月	一件	東京都 ※予定



交流会開催・参加状況

月	交流会名
4月	祇園白川お花見交流会
5月	チキンラーメン博物館と有馬温泉交流会
7月	明石海峡大橋と須磨水族館交流会
11月	浪江のしゃべり場 in 北陸(金沢市)
11月	錦秋の東寺散策、お抹茶体験等交流会



交流会開催・参加状況

月	交流会名
9月	第7回福玉サロン
10月	おあがんなしょ(ふじみの市)・川越ここカフェ
11月	福玉フェスタ・なみえのしゃべり場 in TOKYO
12月	おあがんなしょ(ふじみの市)・川越ここカフェ
1月	新春ボウリング大会・第8回福玉サロン



情報発信



浪江町役場ホームページ
★浪江町復興支援員のページ★より
ブログをご覧いただけます!



浪江町京都府駐在復興支援員です。いつもお世話になっております★

情報発信



浪江町役場ホームページ
★浪江町復興支援員のページ★より
なみえ情報館・ブログを
ご覧いただけます!



浪江町埼玉県駐在復興支援員です。いつもありがとうございます★

双葉郡 児童作文 コンクール

入賞作品を紹介します

浪江小学校 TEL 024(567)3970
津島小学校 TEL 024(567)6860

今年の浪江小学校・津島小学校は、「なみえを愛し 未来に向かって えがおで生きる子ども」を教育目標に学校を運営しています。児童数は21名で、二本松市を中心に、福島市、本宮市、郡山市の仮設住宅や借上げ住宅から全員元気にスクールバスで通学しています。

今年度のふるさとなみえ科（総合的な学習の時間）では、「浪江の方とつながろう」をテーマに、仮設住宅を訪問し、浪江町の方との歌やゲームの交流やインタビューを通して、浪江町への思いや現在の様子等を聞き、新聞にまとめる学習を進めています。

また、浪江町の自然や伝統文化、名所等をもとに、数え唄をつくったり、双葉せんだん太鼓を練習して先日の浪江町十日市祭で発表し、観客の方から大きな拍手をいただきました。

これからも、この学習を通して浪江町の皆さんの希望の花、笑顔の花をいっぱい咲かせたいと考えています。

*今回は、4～6年生の入賞作品をご紹介します。子どもたちの体験や夢をお読みください。なお、12月号の3年生の作文は、福島県作文コンクールで特選に輝きました。

お父さんの焼きそば

四年 瀧 リリカ

「うまい。最高の味だ。」
「おかわりしていいですか。」
わくわく広場で、なみえ焼きそばを食べるみんなは、とてもうれしそう。おはしを休めることもなく、むちゅうで食べています。

十月一日は、「浪江焼きそば」の由来や目的についてお話ししていただく「浪江焼そば授業」そして、「B1グランプリin郡山」でなみえ焼きそばたいそうをおどつておうえんする私達の目の前で、大きな鉄板でなみえ焼きそばを作っているのは、私のお父さん。

浪江焼そばのメンバーとおそろいの服を着て、実えん会が始まりました。初めに、熱くなった鉄板に油をひき、ぶたバラ肉をいためます。色がついたら、次はもやしを入れます。もやしは、しゃきしゃきの歯ごたえを残していただきます。その後は、いよいよ太めん。

「うわあ。早く食べたいな。」
最後は、特せいソースをたっぷりかけて、でき上がり。ひでんのソースです。「いいにおい。」

みんなが手でおいを自分のはなのところまで何度も運んで、できあがり

楽しみにしています。

私のお父さんは、浪江町で飲食店を開いていました。おいしい料理を作るお父さんは、私のじまんでした。三年前のある日、ひなん先でも浪江の味を思い出してほしいと、かせつ住たくに住んでいる人達に「なみえ焼きそば」をふるまうことになりました。

ひさしぶりに茶色のエプロンすがたでヘラを持ったお父さんを見て、私はうれしかったです。とてもかっこよく見えました。家に帰ると、「なつかしい。」と言う人や「ほっとする。」と言う人。「初めて食べた。」と言う人。どの人もとても笑顔でよろこんでくれたよ。みんなが、「ありがとう。」とお父さんに言ってくれた。と話してくれました。

「お父さん一人ががんばっても何にもならないかもしれないけれど、なみえ焼きそばを通して、たくさんの人達が笑顔になってくれたり、ばらばらになった人達のさい会の場になったりしてくれるなら、お父さんはがんばってみようかな。」

それからお父さんは、どんなに遠くてもよろこんでくれるなら、岡山などいろいろな所へ行きました。見ていたら、私も手伝いたくなって、お父さんにたのんでみました。「いいよ。」
「なんだかお父さんうれしそうでした。」

「やったあ。」

さっそくエプロンをかけて手伝いました。でも、パックに入った焼きそばを運ぶうちに（めんが重くて大変だなあ。）と感じました。お父さんは、何百人分の焼きそばを一人で作っていて大変なのに、ずっと笑顔のままでした。それは、長い列にいらんで買いに来るたくさんの方が、

「みんな、がんばってね。」
「町を思い出すよ。」
「ぜったいに、浪江に帰ろうね。」
と言いながら、何度もお父さんと、力強くあく手をしていながらだと思えます。お父さんをほげます声がいっぱいもつづいていました。

私は、お父さんの焼きそばは、人の心の中にずっとふるさとの町を残すことができ、これから先も町を残そうとみんなが思えるようになる、きらきら光る太陽のようなそんなさいなのだと思います。

「町にもどる人は少ないかもしれないけど、ちがう土地にいても、私達が心の中に町を残しておけばだいじょうぶだ。」

とお父さんは言っています。お父さんやお母さん、そして、私が生まれ育った町は、ずっとあの場所にあるのです。私が大人になって、もし、町に帰ることができたなら、お父さんと、焼きそば屋さんになりたいです。それが私とお父さんのゆめです。

伝統を守る

五年 久米田滉斗

「うわあ。ぐちゃぐちゃだあ。」
二〇一四年九月八日、今日は楽しみにしていた「大堀相馬焼体験」の日です。初めてろくろを使って茶わんを作ることもあり、うまくできるか不安な気持ちもありましたが、はやく完成させたいという気持ちの方が強く、わくわくしていました。

最初に工房の方が作り方を説明し、実際にろくろを使った作り方を見せてくれました。ぼくはそれを見て、「なんだ、簡単じゃん。」
「なんだ、簡単じゃん。」
「うわあ。ぬるぬるする。」
思ったよりぬん土がやわらかく、手に力を入れると、みるみる形がかわっていきます。

「簡単、簡単。」
うまく縦に伸ばすことができ、第一

段階は終わりよう。次は、上から親指を押し込んでへこませる段階です。「よおーし。」

親指に力を入れゆつくりと押し込んでいきます。（へこんできたぞ、その調子。）そう思ったしゅん間、「うわあ。ぐちゃぐちゃだあ。」
あつという間に形がぐちゃぐちゃぐちゃになってしまいました。「ろくろって難しいなあ。」

ぼくが初めて大堀相馬焼作りを体験したのは今から三年前の二年生の時でした。あの時は、茶わんではなく、お皿を作りました。一回で上手にできました。三年生の時は湯飲み茶わんにちよう戦しました。お皿はほとんど同じ形をしているけど、湯飲み茶わんはいろいろな形があるので、どんな形にするかなやみました。お店で売っている形はどうだろうと思いつき、作ってみるとすごく難しく、完成させるのに苦労した記憶が残っています。四年生になると、二年生の時の経験を生かし、少し大きめのお皿づくりにちよう戦しました。手が勝手に動き、すらすら作ることができました。

このように、大堀相馬焼作り体験は今年で四年目。湯飲み茶わん作りは苦労した記憶はあっても、ろくろを使えば茶わんは簡単にできるだ

ろうと思っていたのです。でも実際はそうではありませんでした。ぬらす水の量やちよとした力や入れ具合で形が大きく変わったり、時にはくずれてしまったりするのです。工房で働く方々はあつという間に形を整え、簡単に作り上げてしまいきます。さすがです。でも、工房で働く方々も昔はぼくのように苦労していたのだと思います。毎日毎日作り続けることでのような立派な職人さんになったんだと思います。

今回、ぼくは茶わんを作っている時（かっこいい茶わんができたらいいなあ。）と思いながら作業をしていました。その他にも、（うまくできたらいろいろな人にも見てもらいたいなあ。）とも思っていました。なんとなく工房で働く方々の気持ちもわかった気がしました。たぶん、ぼくの気持ちと似ている。
「上手に作ってたくさんの人に見てほしい。」
「たくさんの人に使ってほしい。」
という気持ちで作っているのかなと思えました。

大堀相馬焼の作品を見ると、工房で働く方々の気持ちが伝わってきました。そして、大堀相馬焼の三つの特ちょうを知ることができました。特ちょうの一つ目は「青ひび」で

す。二種類の薬をぬることにより、かま出しの時にひびが入り、もようになるそうです。焼き物全体にひびが入っていて、とてもきれいです。二つ目は「ふたえ焼き」です。ふたつの器を重ね合わせることで、入れたお湯が冷めにくく、熱いお湯を入れて手に持っても熱くなりません。使う人の気持ちを考えて作られています。

三つ目は「走り駒」です。筆を使って馬の絵を一気にかき上げるそうです。手がぎなので同じ馬の絵は一つもないそうです。とてもかっこいいです。

だからぼくは、このすばらしい大堀相馬焼が、日本だけでなく世界にも広がって大人気になってほしいと思います。大堀相馬焼は昔から続いている伝統工芸。このまま後をつぐ人がいなければ終わってしまします。そんなことは、絶対にあってはいけません。後をつぐ人を増やすためにも、もっととたくさんの人に大堀相馬焼のすばらしさを知ってもらい、世界中に広まってほしい。これがぼくの願いです。もし、ぼくの分身がいたら大堀相馬焼の職人になって伝統を守るために作り続けた気持ちでいっぱいです。

1月の休館日

5日(月) 12日(月・祝) 18日(日) 19日(月) 26日(月)
 ※年始の休業は、1月1日(木)~1月5日(月)まで

浪江 in 福島ライブラリー きぼう
 (仮設浪江図書館)

TEL・FAX 024(573)4295
 〒960-0241 福島市笹谷字片目清水30-8

- ◆貸出冊数 1人5冊まで
- ◆利用時間 9時~17時
- ※お気軽にご利用ください。



読んでみませんか



「希望の牧場」

森 絵都/作
 吉田尚令/絵
 岩崎書店2014

3.11以後、浪江町にとり残された牛たちと、何が何でも牛たちを守りつづけようと決めた牛飼いのすがたを描いた作品です。直木賞作家の森絵都さんが文章を書いています。



「寿辞」

ウエダ建設社史編纂室/著
 新宿書房2014

浪江町「ウエダ建設」。彼らが築いてきた神社仏閣、民家、公共建築は3.11以後どうなったのか？

*寿辞とは、上棟式で大工の棟梁が読み上げる祝詞のことです。

ライブラリーきぼうでは、3.11以後の避難生活のこと、浪江町のことなど浪江町を離れてから本を出版された方の著作を募集しています。
 皆さまに読んで頂けますよう、本欄でもご紹介させていただきます。ぜひご寄贈ください。

相馬税務署から
 平成26年分の申告と納付等の
 期限についてのお知らせ

所得税および復興特別所得税・贈与税の期限は3月16日(月)、消費税および地方消費税の期限は3月31日(火)です。

なお、東日本大震災により被災時の納税地が次の10市町村にあった方は、平成22年分から平成25年分の申告・納付等は、平成27年3月31日(火)までに手続きをお願いします。

【南相馬市、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村】

■福島県内の各税務署の電話番号

税務署名	電話番号	税務署名	電話番号
相馬税務署	0244(36)3111	白河税務署	0248(22)7111
福島税務署	024(534)3121	須賀川税務署	0248(75)2194
会津若松税務署	0242(27)4311	喜多方税務署	0241(24)5050
郡山税務署	024(932)2041	二本松税務署	0243(22)1192
いわき税務署	0246(23)2141	田島税務署	0241(62)1230

※確定申告および東日本大震災に関する電話相談は、確定申告電話相談センターにおつなぎします。音声案内に従い「0番」を選択してください。

ふくしま就職応援センターからのお知らせ
 個別就職相談会を
 開催します

ふくしま就職応援センターは、福島県が県内5か所に設置した無料の就職相談窓口です。

仕事を探している人、福島県で就職したい学生・既卒者、震災により避難している方等、県内就職希望者は誰でも利用できます。

悩んでいることを話しながら考えを整理したい、転職を考えている、やりたい仕事が見つからない、応募書類がなかなか通らない、面接で受からない...そんな悩みに専任の相談員が親身になってお話を伺いますのでお気軽にお越しください。

▷日時

1月7・21日(水) 10時~12時
 1月14・28日(水) 13時30分~15時30分

▷場所

役場二本松事務所 1F 小会議室B-1
 ※福島県のホームページにも掲載されていますのでご利用ください。

問 ふくしま就職応援センター TEL 024(925)0811

私の夢

六年 瀧 美優

私の夢は、プロのフラダンサーになることです。そのために留学する事です。私がそう決めたのは夏休みに行ったハワイ旅行で本場のフラダンスのすばらしさを知ったからです。私は、小学校一年生の時からフラダンスを始めました。それで、いつか本場のフラダンスを見てみたいと、ずっと思っていました。その時、東日本大震災、さらに原発事故による避難生活になってしまいました。知らない土地での生活や学校になれるのに、毎日必死でした。何をすればよいのか分からない日もありました。ハワイのこともあきらめていました。

こへ行けば、フラダンスの歴史やフラダンサーの人達の思いなど、いろいろ分かるのではないかと思います。会場へ入りショーが始まりました。総勢百名のキャストの人達が六つの島からなる、ハワイ・トンガ・ニュージーランド・サモア・タヒチ・フィジーのそれぞれの文化を踊りで表現していました。私は、あつという間にその世界に引き込まれました。力強い男性の踊りは、力強さの中にも優しさを感じました。特に、女性の踊りには本当にビックリしました。指先がとてもしなやかに動き、表情も笑顔をやさしくなやかに踊ったり泣いたり踊ったり、とてもすばらしかったです。私もこんなふうになりたい、たくさんの人達にフラダンスのすばらしさを伝えたい、踊りで気持ちを表現したいと思いました。

ハワイでフラダンスを学ぶためには、まず本場の英語を学ぶために留学することだと思いました。学校では、オーストラリアからのALTの先生と外国語を学習しています。ハワイでは、それを生かして、片言の英語と身振り手振りで何とか会話や買い物をする事ができましたが、やっぱりきちんと会話したいと強く感じました。それに、現地の習慣や考え方をもちとともっと知りたいたいと思いました。それには、これからさらに英語を勉強しなければいけないと改めて思いました。そして必ず留学の夢を実現したいです。

昨年までは、歌手になりたいという夢を持っていました。それは、学校に外国のシンガーの人達がゴスペルを歌いに来てくれて、初めてアカペラで生歌を聞き、その迫力にビックリしたからです。力強くそしてかつこ良く歌う人達にひかれ、私の体は自然に動きだしたりリズムに乗っていました。一瞬でそんな気持ちにさせてしまうゴスペルを歌う人達を私は、とてもすてきたと思いました。私もそんな歌手になって、たくさんの人達を笑顔にしたいと考えました。また、デザイナーになる事も私の夢の一つでした。私は、小さいころから服にとっても興味があり、作ることもそうですがデザインすることもとても好きでした。なぜならたくさん絵を描き一つの服が色の合わせ具合でいろいろな雰囲気になる事がとても好きです。

復興なみえ町「十日市祭」

今年で4回目となる復興なみえ町十日市祭が11月29・30日の2日間、二本松駅前周辺で開催されました。会場では大堀神楽保存会による神楽や請戸の田植踊りなどの伝統芸能、福島県出身の舞妓さんによる華麗な舞いが披露されました。また、浪江小・津島小学校の児童による太鼓、浪江中学校の生徒によるよさこいが披露されたほか、浪江町の各仮設住宅、借上げ住宅の自治会の皆さんの作品も展示され、会場は大いに賑わいました。



多くの人で賑わう露店



建設技術学院跡
仮設住宅自治会
の作品



浪江小・津島小の作品



浪江中の作品

災害相互応援協定の締結を行いました

11月28日に行われた、平成26年度全国報徳研究市町村協議会総会において、本協議会へ加盟している当町を含めた全17市町村で協定締結を行いました。
※全国報徳会研究市町村協議会とは、報徳思想に学び、自治体の行財政改革をすすめ、地方分権の時代に備えたまちづくり・ひとづくり等について協議するとともに、二宮尊徳の生涯や考え方を周知するための活動を行うことを目的とした協議会です。



『浪江町防犯見守り隊』が発足しました

11月27日、浪江町民によるパトロール隊「浪江町防犯見守り隊」が発足し、役場本庁舎で発隊式が行われました。今後、見守り隊により町内のパトロール、立入者への声掛けを行っていきます。発隊式後は、警察等の防犯関係団体との合同パトロール出動式が行われました。



第26回 ふくしま駅伝

11月16日、第26回ふくしま駅伝（市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会）が開催され、53チームが白河市から県庁（福島市）までの16区間95.1kmを競い合いました。浪江町は町の部11位、総合29位でした。皆さまの応援ありがとうございました。

がんばれ!



皆さまの身の回りにある楽しい話題、いっふう変わった話題などの情報を募集しています。

☎復興推進課情報統計係
☎0243(62)4731

相馬市大野台 第8仮設住宅で「山形県最上町の芋煮汁」の振る舞い

11月30日、山形県最上町交流促進課と観光協会の方々相馬市大野台第8応急仮設住宅を訪れ、仮設に入居している皆さんに芋煮汁を振る舞っていただきました。震災直後に最上町に避難した町民の方がお世話になった縁で、「仮設入居の皆さんにもぜひ芋煮汁を食べていただきたい」とのことで、今回の訪問となりました。

芋煮汁は地元で収穫された里芋とネギ、山形産牛肉にシメジやマイタケ、コンニャクが入った醤油味ベースの鍋です。当日はあいにくの小雨模様でしたが、町民の皆さんは熱々の芋煮汁をおかわりしておいしくいただき、心から温まることができました。



旧平石小学校仮設住宅で「秋田民謡ときりたんぽの集い」

11月25日、二本松市旧平石小学校仮設住宅で、あきた年金者ボランティアの会（事務局：山内宏様）の支援で「秋田民謡ときりたんぽの集い」が開催されました。当日はあいにくの雨空でしたが、近くに避難されている方たちも集まり、秋田民謡を楽しみながら温かい本場のきりたんぽ鍋を楽しみました。



浪江焼麺太国が「平成26年度地域づくり表彰 国土交通大臣賞」を受賞しました

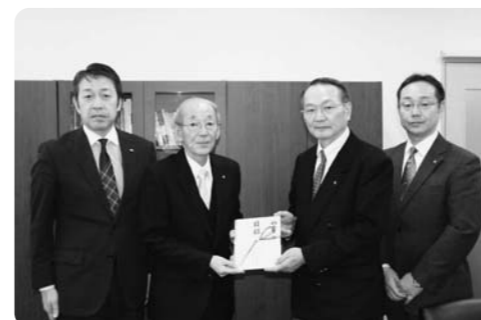
国土交通省の「平成26年度地域づくり表彰」において、浪江焼麺太国（代表：八島貞之氏）が最高賞である大臣賞を受賞し、11月27日に表彰式が行われました。

浪江町のご当地グルメ「なみえ焼そば」のPRを通じて、食による「まちおこし」に取組み、東日本大震災後も「まちのこし」を合言葉に活動を継続することで、全国に避難している浪江町民に勇気を与えるなど、地域の心の復興に大きく貢献している点が評価されました。大臣賞の受賞は、福島県内では初めてです。

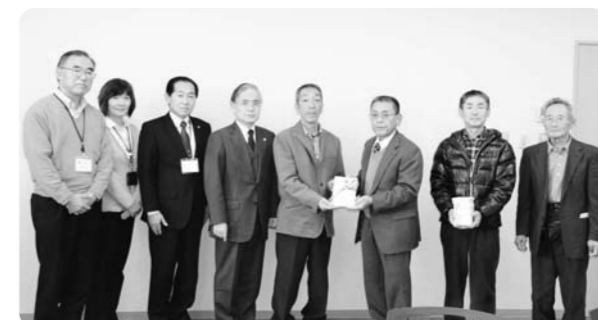


ありがとうございました

みなさまから役場二本松事務所へ義援金等の支援をお届けいただきました。

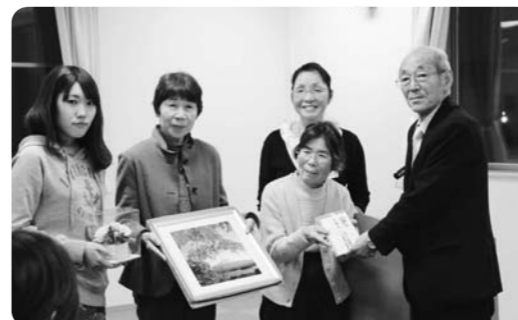


11月14日、全国法人会総連合様、大同生命保険株式会社様、A I U損害保険株式会社様（寄附金）



11月14日、鹿児島市のお米で支援プロジェクトチーム「どんこ村」開拓団様（図書券）

＊「どんこ村」開拓団
「東日本大震災孤児・遺児のために自分たちでできることをしよう」との思いから、身近な遊休農地の田んぼでお米を作り、その販売益で支援を行っている団体。「どんこ」とは、鹿児島で「カエル」のこと。この活動が「カエルの歌」の輪のように広がって欲しいとの願いを込めている。



11月20日、静岡県避難者支援実行委員会様（義援金等）



12月2日、日産自動車様（復興支援車両の寄贈）アルパイン様（カーナビゲーションの寄贈）

情報

問合せ
申込み
電話
ファクス
メールアドレス
ホームページアドレス
フリーダイヤル

ぴくあっぷ

+ 仮設津島診療所のお医者さん

☎ 仮設津島診療所 ☎ 0243(24)1431

■診療時間 午前：9時～12時
午後：14時～16時

- 1月5日(月) 関根(午前)・JCHO・佐川(午後)・峯廻
- 6日(火) 関根・岡和田(小児外科)・峯廻
- 7日(水) 関根・西・福島医大(午前)・村松(午後)
- 8日(木) 関根・今村
- 9日(金) 関根(午前)・玉井・峯廻
- 13日(火) 関根・峯廻
- 14日(水) 関根・西・福島医大(午前)・村松(午後)
- 15日(木) 関根・木村(皮膚科)
- 16日(金) 関根(午前)・玉井・佐川(午後)・峯廻
- 19日(月) 関根(午前)・JCHO・佐川(午後)・峯廻
- 20日(火) 関根・岡和田(小児外科)・峯廻
- 21日(水) 関根・西・福島医大(午前)・村松(午後)
- 22日(木) 関根・今村・木村(皮膚科)
- 23日(金) 関根(午前)・玉井・佐川(午後)・峯廻
- 26日(月) 関根(午前)・JCHO・佐川(午後)・峯廻
- 27日(火) 関根・岡和田(小児外科)・峯廻
- 28日(水) 関根・西・福島医大(午前)・村松(午後)
- 29日(木) 関根・木村(皮膚科)
- 30日(金) 関根(午前)・玉井・佐川(午後)・峯廻

＊JCHO:独立行政法人地域医療機能推進機構

+ 浪江町応急仮設診療所のお医者さん

☎ 仮設津島診療所 ☎ 0243(24)1431

- 診療時間 9時30分～15時
- 場所 浪江町役場本庁舎内
- 診療体制
月曜日から土曜日…災害医療センター医師
日曜日……………相馬郡医師会医師
※医師1名、看護師1名ずつ常駐
- 診療内容 けが、病気等の初期応急手当

平成26年度の浪江町 就学援助の申請受付を開始します

1月上旬に、平成25年度に本町で認定した世帯と、平成26年度に初めて小学校に入学した児童がいる世帯に対して申請書類を郵送しますので、町で行う就学援助の対象となる方は申請してください。

それ以外の方で申請を希望する場合は書類を郵送しますので、お手数ですがご連絡ください。

就学援助は、原発避難者特別法により原則として避難先自治体で実施することになっておりますので、就学援助を希望される方で本年度まだ申請していない

方は、まずは通学先の教育委員会、または学校へお問い合わせください。

なお、避難先自治体で就学援助を受けられる場合は、町からの就学援助は行いませんのでご了承ください（避難先自治体との重複支給は行いません）。

▽就学援助対象者
所得条件等により、避難先の自治体で就学援助を受けられなかった方

▽援助内容
浪江町就学援助規則に基づき、学校給食費（実費）、および就学に必要な学用品費等にかかる経費の一部を援助します。

▽申請期限 1月30日(金)まで

☎ 教育委員会事務局学校教育係
0243(62)0301

平成27・28年度の浪江町 町入札参加資格審査の申請受付について

公共機関が工事等の請負契約、測量等の委託契約の相手方を指名競争入札の方法で選定する場合、あらかじめ、相手方の資格を審査し契約対象者として適正かどうかを認定しておくことが地方自治法により定められています。

そのため、浪江町が行う競争入札に参加を希望される場合は、事前に入札参加資格審査申請を提出する必要があります。

希望される方は、次により申請書等を提出してください。

- ▽受付期間 1月26日(月)から2月28日(土)まで（土日、祝祭日を除く）
 - ▽受付時間 午前9時から午後5時まで（正午から午後1時を除く）
 - ▽申請方法
●郵送 2月28日までの消印有効
●持参 即日審査は行ないませんのでご注意ください。
- ※電子メール、FAXでの申請不可。
- ▽申請種別
(1)建設工事 (2)測量等
(3)役務 (4)物品購入
- ☎ 総務課財政管財係
0243(62)0132

ここから下は広告です。

エコドライブ、美しい環境とモビリティの楽しさを次世代へ。

双葉ホンダモーターズです。本宮店・須賀川森宿店でお待ちしております。

GRACE ハイブリッド4WDセダン、グレイス誕生。

全タイプ(4WD) JC08モード 29.4 km/L
走行燃料消費率* (国土交通省基準)
※詳しくは各店スタッフまでお問い合わせください。

Honda Cars 福島県央 本宮店
〒969-1165 本宮市本宮字中台21 営業時間 9:00～18:30 毎週火曜定休
TEL0243-24-8188

Honda Cars 福島県央 須賀川森宿店
〒962-0001 須賀川市森宿字日向29-12 営業時間 9:00～18:30 毎週火曜定休
TEL0248-76-3115

★燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。

ここから下は広告です。

サンプラザ買物利便性向上支援事業

サンプラザふねひきパーク店までの 無料送迎バス運行中!

各地区別に月計5回 無料送迎実施中 毎回大好評

お近くの借上げ住宅にお住まいの方も、お気軽にご利用ください。

二本松地区 毎月2回 1日と15日	本宮地区 毎月 10日	桑折・福島地区 毎月 18日	白河・郡山地区 毎月 25日
-------------------------	-------------------	----------------------	----------------------

サンプラザ
ふねひきパーク店
田村市船引町船引字原田9 〒963-4312
お問合わせ・お申込みは
080-5730-8410
080-5730-8411
受付時間 AM10:00～PM6:00

厚生労働省福島労働局委託事業「福島雇用促進支援事業」 福島広域雇用促進支援協議会からのお知らせ

いわき、避難解除区域等合同就職面接会を開催します

▷開催日時 平成27年2月1日(日)
▷開催場所 いわき産業創造館(ラトブ) 6F企画展示ホール
▷参加企業 いわき市・避難解除区域等を中心とした企業30社(予定)
※詳細はホームページをご覧ください。

参加費 無料
予約不要
入退場 自由

東京からバスを運行します(上野周辺⇄ラトブ)。片道のみ利用可。
乗車希望の方は事前申込みが必要です。申込み期限:1月23日(金)
詳しくは、当協議会のホームページをご覧ください。

<http://fkkyou.net/> [働きたいネット](#) で検索

自分「再」発見セミナーを開催します

「自分はどんな仕事に向いているのかな?」とお悩みの方へ。私たちと一緒に自分を再発見してみませんか?このセミナーでは性格診断テストを使って、今の自分を振り返ります。

今まで気づかなかった自分の強みを再発見して、就職に向けて新たな一歩を踏み出しましょう!セミナーでは、産業カウンセラーの資格を持った相談員が対応します。

▷開催日時 【1月】 1/19(月) 13:30~15:30 申込み期限:1/14(水)
【2月】 2/10(火) 13:30~15:30 申込み期限:2/5(木)
【3月】 3/10(火) 13:30~15:30 申込み期限:3/5(木)

▷開催場所 福島市中町4-20 みんゆうビル202 福島広域雇用促進支援協議会 相談窓口
※駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

▷申込方法 FAX、ホームページ、お電話でお申込みください。(定員になり次第、申込み終了)

参加費 無料
各日 6名
(先着順)

各種資格取得講座の受講者を募集しています

当協議会が実施している各種資格取得講座の日程をお知らせします。
お申込みはFAXのほか、当協議会ホームページからも可能です。

[働きたいネット](#) で検索!

受講料 テキスト料 無料

- ◆除染等業務作業指揮者・従事者講習(各70名)
【白河会場】 1/20~1/21 締切:1/13(火)
【二本松会場】 1/27~1/28 締切:1/20(火)
【郡山会場】 2/5~2/6 締切:1/29(木)
【南相馬会場】 2/17~2/18 締切:2/10(火)
- ◆Word・Excel(2級)コース(各20名)
【福島会場】 1/26~2/23 締切:1/19(月)

- 2/24~3/23 締切:2/17(火)
- 【いわき会場】 2/17~3/16 締切:2/10(火)
- ◆Webデザインコース(15名)
【福島会場】 1/22~2/19 締切:1/15(木)
【いわき会場】 2/16~3/13 締切:2/9(月)
【郡山会場】 2/23~3/20 締切:2/16(月)
- ◆車両系建設機械運転技能講習(各10名)
【福島北会場】 1/19~1/23 締切:1/5(月)
【いわき会場】 1/23~1/28 締切:1/9(金)
【相双会場】 1/27~1/31 締切:1/13(火)
2/23~2/27 締切:2/9(月)
- ◆小型移動式クレーン運転技能・玉掛け講習(各10名)
【いわき会場】 1/29~2/4 締切:1/15(木)

安心して福島で暮らすために、もう一度考えてみませんか

放射線セミナー Re-Life Fukushima を開催します。

▷内容

- ①わたしたちの周りの放射線はどうなっているの
 - ②知っておきたい放射線リスクに関すること
 - ③「安全」と言われても「安心」できないわけ
 - ④注目!日本酒の放射線防護効果
- ※参加希望の方は、お電話かFAXまたは当協議会のホームページよりお申込みください。
(当日参加も可能ですが、定員に達した際はご入場いただけない場合があります。)

受講料 無料
定員 20名

各種講座や職場体験、就職相談の詳細な内容は、ホームページをご覧ください。

[浪江窓口](#) [TEL:0243\(24\)9310](#) <http://fkkyou.net/> [働きたいネット](#) で検索

平成27年度以降の子育てに関する状況調査を実施します

町は、子育てに関する事業検討と現状の把握のため、来年度(平成27年4月)の予定や要望等を調査しますので、ご協力よろしくお願いいたします。

▽提出期限 1月30日(金)まで
※この調査票は、平成21年4月2日~平成26年11月30日まで生まれのお子さんと、12月15日(月)までに届け出の確認がとれた保護者へ送付します。
※平成26年11月28日(金)現在で浪江町に登録されている避難先の住所へ送付します。
[TEL 0243\(62\)0170](tel:0243620170)
☎ 教育委員会事務局子育て支援係

「県民健康調査」平成26年度の健康診査を実施します

対象の方には、福島県立医科大学よりご案内をお送りしています。

次のいずれかで受診できますので、詳細はご案内の資料をご確認ください。
①集団健診

案内に同封されている集団健診スケジュール(1月9日~3月15日)から、ご希望の健診会

場・日程を選び、福島県立医科大学までお申込みください。
②個別健診(県内の医療機関で実施)

案内に同封されている対象医療機関リストから、直接、希望される医療機関へ予約を入れ、1月5日~3月14日の間で受診してください。

☎ 福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター
[TEL 024\(544\)5130](tel:02454495130)
☎ 健康保険課健康係
[TEL 0243\(62\)0168](tel:02430168)

心の健康相談を実施しています

相双保健福祉事務所は、さまざまな心の問題でお困りの方、またその家族を対象に、精神科医による「心の健康相談」を実施しています。

自分ひとりでは悩まず気軽に相談ください。秘密は厳守します。
※相談は無料。事前にお申込みください。

▽日時 1月28日(水) 9時~11時
▽場所 相双保健福祉事務所
甲・相双保健福祉事務所障がい者支援チーム
[TEL 0244\(26\)1132](tel:0244261132)

国民年金の第一号被保険者の皆さまへ 国民年金基金制度のご案内

国民年金基金は、自営業、農業などの国民年金の第一号被保険者の方々がゆとりある老後を過ごせるよう、国民年金に上乗せする公的な年金制度です。
加入できるのは、国民年金に加入している20歳以上60歳未満の方および60歳以上65歳未満で国民年金に任意加入している方です。

加入は任意で、色々な年金のタイプから現在の状況や将来設計にあわせて選ぶことができます。
年金受給前や保証期間内にお亡くなりなった場合、ご家族に一時金が支払われます。(保証がないタイプは年金もご用意していません)

掛金は全額社会保険料控除、受け取る年金は公的年金等控除の対象になり、税制面で優遇されます。
60歳以上65歳未満の任意加入されている方も加入することができます。

☎ 福島県国民年金基金
〒960-0804 福島市中町1番19号中町ビル5F
<http://www.fnpf.or.jp/>
[TEL 0240\(65\)4192](tel:02404192)

避難状況 (11月30日現在)

都道府県	人数	対10/31	都道府県	人数	対10/31
北海道	70	0	滋賀県	1	0
青森県	35	-5	京都府	33	0
岩手県	35	3	大阪府	56	0
宮城県	685	7	兵庫県	20	3
秋田県	69	0	奈良県	7	0
山形県	193	-2	和歌山県	0	0
福島県	14,655	-7	鳥取県	1	0
茨城県	951	1	島根県	6	0
栃木県	471	-3	岡山県	24	1
群馬県	165	1	広島県	14	0
埼玉県	746	-2	山口県	1	0
千葉県	551	-1	徳島県	1	0
東京都	921	3	香川県	3	0
神奈川県	457	-5	愛媛県	14	0
新潟県	470	1	高知県	6	-1
富山県	15	0	福岡県	22	0
石川県	31	0	佐賀県	5	0
福井県	12	0	長崎県	12	0
山梨県	61	1	熊本県	4	2
長野県	55	0	大分県	5	0
岐阜県	18	0	宮崎県	8	0
静岡県	67	0	鹿児島県	7	0
愛知県	28	-1	沖縄県	20	0
三重県	9	0	外国	11	0

浪江町商工会二本松事務所 移転のお知らせ

平成26年12月22日より、二本松市役所安達支所から移転しました。電話番号はこれまでのままで変更ありません。

新住所 〒964-0906 二本松市若宮二丁目154-1
☎ 浪江町商工会(二本松事務所)
[TEL 0243\(22\)9100](tel:0243229100)

ここからは広告です。

田村市船引町で営業しています。

サンブラザ観光 特選バスツアー
★2/10(火)~12(木) 鳴子温泉2泊3日湯治の旅!
参加旅費:大人¥29,800
★2/15(日) 世界らん展日本大賞 2015(25周年記念)
参加旅費:大人¥9,500-

心に残る旅の思い出作りをお手伝いさせていただきます。
(株)サンブラザ観光 福島県知事登録旅行業 第2-349号
〒963-4312 福島県田村市船引町船引字原田9
[TEL:0247-73-8097](tel:0247738097) [FAX:0247-73-8098](tel:0247738098)
代表取締役 先崎 教一郎

町内モニタリングポスト測定結果

原子力規制委員会が町内92か所に設置したモニタリングポストの測定結果をお知らせします。

*原子力規制委員会放射線モニタリング情報 URL http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/

*定期点検や通信回線の不具合等により「調整中」となる場合があります。

(単位: μSv/h)

Table with columns: 地区, 測定地点, 12月1日, 12月15日. Lists monitoring points across various districts like 浪江, 幾世橋, 請戸, 大堀.

原子力規制委員会原子力規制庁監視情報課 03(5114)2125

Table with columns: 地区, 測定地点, 12月1日, 12月15日. Lists monitoring points across various districts like 大堀, 苅野, 津島.

町内空間線量測定結果

帰町準備室危機防災係 0240(34)0229

上記モニタリングポストが設置されていない箇所の空間線量測定結果をお知らせします。シンチレーション式サーバイメータにより、地上1m地点の測定値を掲載しています。

(単位: μSv/h)

Table with columns: 地区, 測定地点, 測定値. Lists spatial radiation measurement results for districts like 浪江, 幾世橋, 請戸, 大堀, 苅野, 津島.

*測定日は平成26年12月3・4日です。

わたしたちのまち (平成26年11月末現在) 人口 19,090人 転入 7人 男 9,303人 転出 14人 女 9,787人 出生 14人 世帯数 7,149戸 死亡 20人

※転入は、震災後転出した方の再転入のみ。 ※人口は、外国人を含みます。

※お誕生・お悔み欄には、連絡がとれた方のみ掲載しています。住民票を町外に異動された方で、掲載希望の方はご連絡ください。 復興推進課情報統計係 0243(62)4731

お誕生

出生届は14日以内に

こどもの名(性別) 親の名 住所

9月 佐々木 葵太 男 国茂・愛美 藤橋

10月 松本 一翔 男 岳和・美妃 室原

佐藤 姫奈 女 広文・裕美 立野

関根 俊太郎 男 俊一・敦子 棚塩

石川 俊太郎 男 俊勝・明美 樋渡

林 由莉奈 女 広勝・素子 川添

作山 あさひ 女 真哉・明香 権現堂

門馬 侑愛 女 大輔・嗣美 川添

矢澤 ゆい 女 和正・愛 権現堂

松本 直樹 男 明法・由紀 両竹

小濱 永翔 男 厚士・香里 権現堂

西川 陽鞠 女 諒・梨奈 権現堂

竹村 颯真 男 貴史・まき子 請戸

11月 菅野 煌喜 男 昌克・かおり 権現堂

佐藤 想士 男 豊久・ミユキ 権現堂

小野田 悠人 男 誠・陽子 小野田

阿部 翔真 男 隆宏・静子 加倉

渡部 颯馬 男 義孝・香里 小丸

菱沼 美空 女 純・朋美 川添

佐々木 翔愛 女 時弥・亜純 田尻

酒井 煌斗 男 隼斗・愛 請戸

鈴木 星璃菜 女 一馬・望友紀 酒田

熊川 めいり 女 喜之・久美子 請戸

お悔み

死亡届は7日以内に

死亡者名 年齢 住所

10月 瀧口 貞 男 87歳 権現堂

紺野 保清 88歳 南津島

小林 ハツ 93歳 田尻

穴戸 忠秋 65歳 川添

近久 周平 91歳 川添

太田 テミ子 77歳 立野

佐藤 フヨ 102歳 川添

根岸 洋一 72歳 立野

松田 文雄 89歳 谷津田

山本 英世 79歳 権現堂

松本 キミイ 92歳 川添

11月 紺野 清子 94歳 北幾世橋

三瓶 セツ子 95歳 下津島

鈴木 昭治郎 87歳 北幾世橋

木場 士 72歳 井手

鈴木 秀孝 83歳 請戸

田中 穂積 76歳 川添

吉田 良子 83歳 室原

里見 一夫 65歳 高瀬

佐藤 富美雄 60歳 赤宇木

渡邊 良子 46歳 権現堂

阿部 きみ子 93歳 室原

常盤 茂 92歳 小野田

浦島 外美男 81歳 請戸

石川 研三 90歳 室原

消防署からのお知らせ

空気が乾燥し 火災が発生しやすい季節です

- 暖房器具の周りには物を置かないようにしましょう。 ●寝たばこはしないようにしましょう。 ●調理中キッチンから離れないようにしましょう。 ●屋外での火の取扱いには十分注意しましょう。

入浴時の事故に注意しましょう

- 長湯、高温浴は避けましょう。 ●飲酒後の入浴はやめましょう。

火事と救急は119番

浪江消防署 0240(38)2119 富岡消防署 0240(25)2119



平成27年度の 予備自衛官補を募集します

自衛隊福島地方協力本部は、次のとおり予備自衛官補を募集します。

Table with columns: 募集項目, 予備自衛官補(一般), 予備自衛官補(技能). Details recruitment schedule, age requirements, and exam dates.

※技能応募に必要な資格や受験案内の配布および試験に関する内容は、下記の地域事務所にお問い合わせください。

自衛隊福島地方協力本部相双地域事務所 〒975-0033南相馬市原町区高見町1丁目142-2 TEL・FAX 0244(23)4712

浪江の こころ通信

●第43号●

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして福島第一原子力発電所の事故により、福島県内外に分散避難した浪江町民。長期化する避難生活、先の見えない不安の中で、町民の皆さんがどのような思いで生活し、ふるさとへの思いを抱いているのか。

こうした町民の思いをつなげるために、“浪江のこころプロジェクト”が立ち上げられました。一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム(※)が中心となり、全国各地のNPO、大学等の皆さんが取材を進め、浪江町との連携のもと「浪江のこころ通信」が編集・発行されます。

浪江のこころプロジェクトは、分散避難している町民の皆さんの声を「浪江のこころ通信」を通してお届けし、ふるさと浪江町がかつての暮らしを取り戻すことへの願いとこだわりを発信・共有しようとするものです。

※一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアムは、東北圏(7県)の地域コミュニティ再生や協働のまちづくりの推進を目的として、大学、NPO、企業、経済団体、行政等が連携したコミュニティ支援ネットワーク。仙台が本拠地。

「浪江のこころ通信」第43号への感想をお寄せください。

【連絡先】〒964-0984 福島県二本松市北トロミ573番地
「浪江のこころ通信」宛
FAX.0243(22)4218



避難区域内の ゲルマニウム半導体検査結果

町が福島県に依頼し実施した避難区域内の取水場のゲルマニウム半導体検査結果をお知らせします。

区分	採取月日	採取地	検査結果
原水	11月17日	小野田取水場	不検出
		苅野取水場	不検出
		谷津田取水場	不検出
		大掘取水場	不検出

ゲルマニウム半導体検出器は、ゲルマニウムを持つ半導体(温度などの条件変化によって電気を通す率が変化する物質のこと)としての性質を利用して、水や食品などに含まれる微量の放射線(γ線)を測定し、放射性物質の種類やその量を測定する分析機器です。

☎ 復旧事業課上下水道係 TEL 0240(34)0234



食品の放射能簡易分析結果

町は、食品中の放射性物質を測る機器を配備し、さまざまな食品等の安全安心のため放射性物質測定を実施しています。

■11月の分析結果(上竹倉庫受付分)

区分	検体数	検出された検体数	品名
野菜	5	0	100 ベクレル/kg以上
山菜、きのこ類	1	0	
米(新米)	0	0	
魚	1	0	
その他	29	5	ゆず
水(井戸水・湧水等)	0	0	
合計	36	5	

■11月の分析結果(浪江町役場本庁舎受付分)

区分	検体数	検出された検体数	品名
野菜	1	0	100 ベクレル/kg以上
山菜、きのこ類	0	0	
米(新米)	0	0	
魚	4	0	
その他	19	4	猪肉
水(井戸水・湧水等)	1	0	
合計	25	4	

食品衛生法における基準値(セシウム134、セシウム137の合算値)
 ●一般食品……100ベクレル/Kg ●飲用水……10ベクレル/Kg
 ●牛乳……50ベクレル/Kg ●乳幼児食品……50ベクレル/Kg

※浪江町内の食品は避難指示解除準備区域および居住制限区域のものを受付しています。

食品の簡易測定は、随時受付しています。ご希望の方は、お問い合わせください。

☎ 上竹倉庫事務所 TEL 0243(23)4774

非破壊式測定器(食品の放射線量測定器)を導入しました

町は新たに非破壊式測定器を導入しました。検査は1月13日より開始予定です。

費用は無料ですので、食品の安全を確認したい方はご利用ください。

■非破壊検査器とは

- 食品の可食部(野菜等)を細かく刻むことなく測定できます。
- 幅320mm、奥行240mm、高さ150mmの大きさ、250g~2000gの重さまで測定できます。

■利用対象者

平成23年3月11日現在、浪江町に住所を有していた方

■測定場所

浪江町役場上竹倉庫事務所(二本松市上竹1-150-8)

■測定品目

自家消費用農作物(避難先での家庭菜園などの農作物、その他山菜等の食品)

■注意事項

- 自らが食用とするもの以外は持たないでください。
- 市販されているものや販売予定のものは受け付けられません。



テクノエクス製
レギュム・ライト

- 食品以外のものは測定できません。
- 土や汚れが付着している場合、水洗いしてからお持ち込みください。
- 食べない部分(根や葉っぱ等)は、取り除いてからお持ち込みください。
- 測定可能な重量や大きさを超える場合は測定可能な大きさに切らせていただきます。

■受付時間

8時30分~17時(平日のみ)

■受付方法

事前に電話または窓口でお申込みください。

■検査結果の通知方法

1. 郵送
2. 窓口で結果を受け取る
3. 電話で結果を聞く

※検査員のトレーニングにより開始時期が遅れる可能性がありますのでご了承ください。

※測定品の量や密度により正しい結果が出ない場合があります。

☎ 上竹倉庫事務所 TEL 0243(23)4774

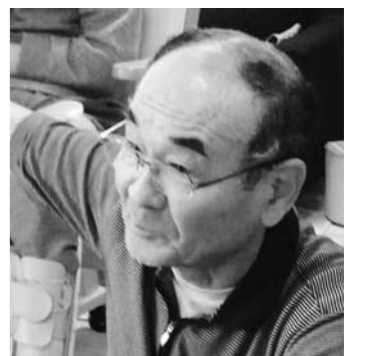


入山 勝秀さん・勝子さん(川添) 中野 卓さん・フキ子さん(高瀬)

取材者：特定非営利活動法人おむた・わいわいまちづくりネットワーク 彌永・松並
取材日：11月29日

振り返れば悔しくてつらい日々だけれど、明日を笑顔で迎えられるように、気持ちを切り替えて暮らしています

入山さんご一家と中野さんご一家は現在同じ市内にお住まいですが、そのことをお互いにご存じありませんでした。それぞれのお話をお聴きするにつれ共通点が多数見つかり、また「故郷の仲間会いたい」と強く思っておられたことから、このグループ取材を「再会のきっかけ」とさせていただくことにしました。



入山勝秀さん



入山勝子さん

◆涙と笑顔の再会

勝子さんの優しい笑顔に迎えられる、暖かい掘りごたつに足を入れるなり、あの日のことから今日の対面を待ちわびていたことまで、堰を切ったように言葉があふれ出しました。

勝子さん 浪江の方とお会いできるなんて、とても嬉しいです。私は足が不自由だけど、お話しちゃんと分かりますからね。

フキ子さん 私は、あの日は仙台にいたけど、何とか浪江に戻ることができた。車が無事だったので暖房をつけて車で寝ました。でも朝になったらガソリンが空っぽでどこにも行けない。あれ以来、ここにも行けない。ガソリンが半分になったら、必ず満タンにするようにしています。

勝秀さん 浪江の情報は役場からたくさん来るし、自分でもパソコンを使って調べることができている。だけど、こうして面と向かって同郷の人と話せるのが何より嬉しいな。

卓さん 以前、新聞で福島の人々の投稿を読んで連絡を取り合いたかったんだけど、うまく進まなかった。いろんなことがありすぎて、だれでも疑心暗鬼になっていたから仕方がないね。

◆浪江のこと

ご両家とも、震災直前に自宅をリフォームされています。勝秀さんが撮影された浪江の様子をパソコンで見せていただきながら、懐かしいあの町・あの人の話題が弾みました。



中野卓さん



中野フキ子さん

でも古くて段差が多く、これから夫婦二人で安心して過ごすには、自分たちに合った間取りで新しく建てるしかないと思い、エイヤツとすべてを注ぎ込んで建てた。楽しみは、友人とカラオケに行くこと。大きな声を出して日ごろの思いを発散している。

勝子さん 週2日から始めたデイサービスに、今は5日通っています。そこで歌うのがとても楽しいの。人の名前を覚えるのが得意で、職員さんや利用者仲間の名前は全部言えます。お名前と呼ぶと、どなたも喜んでくれますよ。

フキ子さん もう10年くらい前に、相馬の松川浦で初めて釣りをやりました。その時が大漁で

“コツバガレイ”が釣れたんです。長崎に来てからも、時々行きます。お父さん(卓さん)が餌をつける人で、私が釣る人です。うふふ。

◆これからのこと

勝子さん 以前は編み物を教えていました。麻痺はありますが左手で少し掴めるようになったので、棒針でマフラーを編みましました。編み物も続けたいし、お父さん(勝秀さん)と二人三脚で作ります。

勝秀さん ここは新興住宅地で、周りは若い人ばかり。同じ世代なんてほとんどいない。でも、ここの班長を引き受けることにした。集金など大変だけど、新



入山ご夫妻(右)、中野ご夫妻(左)

取材を終えて(取材者の感想)

浪江に戻るのか戻らないのか。戻るとしたら、いつ、どんな形で…。その結論は、どなたも明確には持っておられないと感じました。今回、あえてその部分には言及しませんでした。どなたの口ぶりからも、遠い故郷浪江への愛情が強く感じられました。

勝秀さん 今年の10月に見てきたんだけど、草はもろろん、ツタが這って玄関のドアさえ開かなかった。キーウィの実がなっていたのには驚いたよ。

フキ子さん これまで毎年帰っていたけど、今年は帰りませんでした。家の中は見えないほうがいいと子どもに言われていたんですが、やはり気になるので、一度覗いたんですが：ショックでした。

◆長崎での生活

入山家・中野家、どちらもご主人の実家が長崎県です。

卓さん 震災の年に発病し手術を受け、療養のため子ども時代を過ごした暖かい長崎へ引越した。アパート暮らしは狭く・空がなく・緑がなく。このままでは体だけではなく心までダメになってしまおうと思った。気分転換に始めた家庭菜園で取れた野菜類を、近所の方々にもおすそ分けしているよ。新しい友達とゴルフに行つて軽く楽しい話をして過ごすのが、何より楽しい。

勝秀さん 私の実家はすぐ近く。

連絡先一覧

- 浪江町役場二本松事務所
〒964-0984
二本松市北トロミ573番地
TEL 0243(62)0123 FAX 0243(22)4261
- 浪江町役場本庁舎（復興再生事務所）
〒979-1592
双葉郡浪江町大字幾世橋字六反田7-2
TEL 0240(34)2111
- 福島出張所
〒960-8601
福島市五老内町3番1号
（福島市役所9階西側）
TEL 024(535)0750 FAX 024(535)0753
- 本宮出張所
〒969-1203
本宮市白岩字堤崎494番地22
（本宮市役所白沢総合支所1階）
TEL 0243(44)1185・1186
FAX 0243(44)1187
- 桑折出張所
〒969-1611
伊達郡桑折町字東大隅18番地
（桑折町役場2階）
TEL 024(582)2130 FAX 024(582)2135
- いわき出張所
〒970-8026
いわき市平字堂根町1番地の4
（いわき市文化センター2階第4会議室）
TEL 0246(24)0020 FAX 0246(24)0026
- 南相馬出張所
〒975-0039
南相馬市原町区青葉町2-62-2
TEL 0244(23)1112 FAX 0244(23)1114
- 浪江町議会事務局
〒964-0984
二本松市北トロミ573番地
TEL 0243(62)0196 FAX 0243(22)4231
- 浪江町教育委員会
〒964-0984
二本松市北トロミ573番地
TEL 0243(62)0301 FAX 0243(22)4223
- 浪江町社会福祉協議会
〒964-0984
二本松市北トロミ520番地
TEL 0243(62)0877 FAX 0243(23)7970
- 仮設津島診療所
〒969-1404
二本松市油井字長谷堂230番地
TEL 0243(24)1431

ここからは広告です。



株式会社 双葉不動産 — 住まいの「夢」かなえます —

皆さまの住宅再建のお手伝いをさせていただきます。
不動産に関するご相談は弊社にお任せください。

郡山支店



うねめ通り
内環状線
双葉不動産
★ 安積黎明高校
さくら通り

郡山市長者三丁目4-1
武田ビル1階
TEL 024-953-5777
FAX 024-953-5778

南相馬支店



セブンイレブン
★ 双葉不動産
ホテル西山
ラファイヌ

南相馬市原町区旭町
二丁目2-2
TEL 0244-26-5175
FAX 0244-26-5177

レオパレスパートナーズ福島相双店



セブンイレブン
★ レオパレスパートナーズ
ホテル西山
ラファイヌ

南相馬市原町区旭町
二丁目2-2
TEL 0244-26-5180
FAX 0244-26-5182



発行・編集 福島県浪江町役場復興推進課

〒964-0984 福島県二本松市北トロミ573番地
TEL 0243(62)0123(代表) FAX 0243(22)4218
<http://www.town.namie.fukushima.jp>

